

進路通信 進学・就職に向けた基礎学力づくり進行中！

本校生徒の進路実現への課題として、ことわざ・割合の計算・基本英単語といった受験のみならず、社会人としても必要な基礎学力の不足があります。そこで向陽高校では、わからない事をそのままにせず、小学校の内容からの再スタートで、自分が理解していないポイントを洗い出して学び直す学習に取り組んでいます。普通科では総合的な学習の時間で実施中、福祉教養科はLHR教材として2学期以降に実施予定です。これは昨年度の「マナトレ・数学」による指導の続編と言えるもので、今年度は学研「Quick10」の国語・数学・英語による3教科としました。さらに解説や問題追加を施した補助プリントを進路担当職員が独自作成し、生徒はそれに記入していきます。地道で時間のかかる取り組みですが、来年には必要になる知識であり、継続して指導していきます。国語と数学の問題見本を掲載しましたので、ご家族で試されてはいかがでしょうか。

<国語>

1 次の1～5の故事成語の意味として最も適切なものを下のア～クから選び、符号で答えよ。

故 事 成 語		符 号
1	烏合の衆	
2	温故知新	
3	石に啖ぎ（くちすすぎ）流れに枕す	
4	一日千秋	
5	一蓮托生	

- ア 小さな力でも根気よく続ければ、必ず成功することのたとえ。
 イ 才能や技術が人よりすぐれて目立っていること。
 ウ 失敗にこりて用心しすぎることを。
 エ 秩序も統一もなく集まった人々のこと。
 オ 手がかりのないまま、いろいろのことを試みやってみること。
 カ 昔のことを研究して新しい知識や道理を知ること。
 キ 自分のまちがいを無理に押し通すことで、負け惜しみの強いことのたとえ。
 ク 一日が千年のように非常に長く思われること。非常に待ち遠しいこと。

<数学>

例題1 $\left(\frac{1}{2}, \frac{1}{3}\right)$ を通分しなさい。

● 同じ大きさの分数を並べてみる

分母2 $\frac{1}{2} = \frac{2}{4} = \frac{3}{6} = \frac{4}{8} = \frac{5}{10} = \frac{6}{12} = \frac{7}{14} \dots$

分母3 $\frac{1}{3} = \frac{2}{6} = \frac{3}{9} = \frac{4}{12} \dots$

↓
2と3の
最小公倍数は6

分母が同じ分数で
そろえる

これも分母がそろうがこちらは使わない。
なるべく小さい数(最小公倍数=6)でそろえた
ものを使う。

答え $\left(\frac{3}{6}, \frac{2}{6}\right)$

第2学年進路ガイダンス進学希望者対象説明会の内容は、以下のとおりです。

進路を決めるまでの流れ

- ② 分の「興味のあること」「やりたいこと」「勉強してみたいこと」をよく考える！
- ② 学校のパンフレットを集める。しかし...
⇒ 基本的には学校の（よいところ）しか書いていません！！ なので...
- ③ 「オープンキャンパス」や「体験入学」へ行こう！！＜最低3校以上＞
 - ・必ず保護者と一緒に行くこと！！
 - ・なるべく制服で行って顔と学校名を覚えてもらう。

オープンキャンパスで確認すべきこと

- 学校までの距離（家から通う？交通費はどれくらい？1人暮らし？）
- 授業内容（自分の希望や目的にあっている？）
- 学校の施設や設備
- 講師・スタッフ
- とれる資格・検定（取得したい資格を目指せる？）
- 就職状況（どれくらいの人がきちんと卒業しているか。卒業生の就職先は、自分が興味のある分野？）
- 学費（合格通知が届いた2週間後には前期納入金を払う必要あり。初年度は100～130万程度かかる）
- 入試方法
- キャンパスライフ

オープンキャンパスでやること！

- 在校生と話そう
オープンキャンパスは現役の学生さんたちが沢山います。彼らに率直な意見をぶつけてみよう。
- 模擬授業・実習に参加しよう
自分の希望する学科や興味のあるテーマの授業を体験して、入学後の授業のイメージをつかむことが大切です。
- 学部・学科説明会に参加しよう
パンフレットやネットとは違う、生の情報を得られることも多いです。しっかりチェックしよう。
- 入試対策講座に参加しよう
その大学が過去にどういう問題を出してきたか、あるいは翌年どんな出題が予想されるかなどを、大学の教員や予備校の教員が説明してくれます。

高校時代にやっておくべきこと

- 学校の勉強を大切に
- 遅刻・欠席をしない
- 目的意識を明確に
- 適性・興味にあった学科・コースの選択
- 日ごろの努力を忘れずに...

第2学年進路ガイダンスの就職希望者対象では次のような話をしました。

○就職の方法の種類

どのような形で就職するのかによって、事前に行うことや就職活動の形が異なります。そこで、代表的な方法を示しました。本校の生徒のほとんどは学校斡旋です。

学校斡旋 公務員 自営・縁故 自己開拓(学校斡旋になることも)

○何をしたいのか？ 保護者と就職に対する意見の相違はあるか？

社会にある仕事の数は何百とあります。しかし生徒が知っている仕事の種類はあまりありません。まずどんな仕事があるのか、自分はどんな仕事をしたいのか、それに対して保護者はどのように考えているのか、ということについて調べたり相談したりすることが大切であるということを話しました。

どんな仕事がしたいのかをよく考えておく
自分の考えややりたいこと、就職に対する希望をはっきりと保護者に伝えておく。また保護者からの要望もしっかりと確認する

○スケジュール(例年)

例年ほぼ同じスケジュールです。ということは1年後には就職活動をスタートさせているということになります。下のスケジュールのうちゴシックは全国共通です。

7月期末考査最終日 求人票公開
7月15日頃 見学を希望する企業の提出締切
7月20日頃 就職面談指導 企業見学
8月20日頃 9月に行われる入社試験準備
9月 4日頃 入社試験関係書類発送
9月16日～ 入社試験開始
約1週間～10日ぐらいで合否判明

○どんな準備をしなければならないのか その1

これは主に学力や知性に関する事柄です。つまり勉強の部分です。今はできなくても1年後にはできるように今から準備をすることが大切です。

学科試験(クイック10はその入門です) 一般教養(一般常識) 作文・小論文
時事問題(毎日ニュースを見ているか) 読書 クレペリンテスト 適性検査 面接

○どんな準備をしなければならないのか その2

こちらは生活面です。どこの学校であっても「中だるみの2年」といわれますが、たるんでいては就職活動に悪影響を及ぼします。決して難しいことではありません。毎日規則正しい生活を送ることを心がけてもらいたいと思います。

遅刻・欠席・早退をしない生活を送る 制服・頭髪などを整える

あなたのセールスポイントは何ですか？

高卒社員の生涯賃金は約2億円といわれています。あなたが企業に就職して定年まで勤め上げれば2億円の給料を得るということです。つまり企業はそれに見合う人材(定年までに2億円が稼げる人)でなければ採用しないということです。だから、あなたは企業に対してそれだけの価値があるということを示さなければなりません。企業に対して「私は2億円以上稼げる人間ですよ。私を雇わなければ損をしますよ、お金儲けはできませんよ」ということを示さなければならぬのです。

ではあなたのセールスポイントとは何ですか？

実はこれが今日の話の中で一番にいたかったことです。「中学校の時は部活動などで頑張ったけれど」、という生徒は大勢います。でもこれではダメなんです。この発言は裏を返せば「高校の時は何もしていないよ」と受け取られるからです。

では、何がセールスポイントになるのでしょうか。これは決して難しいことではありません。一番はやはり皆勤でしょう。今まで欠席や遅刻があった人でも、これから休まなければ、遅刻をしなければ、「2年次後半から、生活を正して皆勤を貫いた」と書くことができるよ、それはセールスポイントになれるよ、と話をしました。もちろんセールスポイントはそれだけではありません。勉強を頑張るのでもいいでしょう。部活を休まず頑張ってもいいでしょう、たくさん本を読むことだって、近所の子もたちの面倒を見ることだって、ボランティアだっていいのです。とにかく頑張ったことがセールスポイントになるのです。漫然と過ごすのではなく、しっかりと目的を持って規則正しい生活を送ることの重要性を話しました。

○就職試験における条件・制限とは

職種によっては色弱不可などがある。入社までに運転免許取得が条件のことがある。

○入社までの準備

ここでは、今までの卒業生が就職内定後に起こしたトラブルのなかでよくあったものを説明しました。生徒自身からすれば、今まで学校生活ではそれほど問題視されなかったことでも、大人の社会では大きな問題になることも解説しました。

就職にもお金がかかる(運転免許取得やスーツの新調など ー30万円ぐらい)

企業から課題が出されることや、事前研修があることもある。また、企業への報告は締切厳守(「分からないからいいや」、「できないからいいや」はあり得ない)

○1回の受験で合格する可能性は低い、最後まであきらめない

一度の試験での合格率は3割程度です。2～3回の試験を受けることは当たり前だ、決してあきらめてはいけないということです。今年の就職の最後の内定決定は3月21日でした。

正社員として採用されるということは、非正規雇用と比較して様々なメリットがあります。その反面様々な条件もあります。アルバイトの時のように安易な気持ちで受けることがないよう、正社員のメリットとデメリット、そして正社員として雇われることの重みについて考えてもらいました。

最後に、就職希望者対象の夏休みの課題を配付しました。(9月2日に提出です。)これは入社試験問題を集めたものです。分量的には多くありませんが、1年後には必ず解けるようにしてもらいたいと思います。また就職者用のガイドブックも渡しましたので、夏休み中に熟読させて下さい。